

第9回食品ロス削減推進会議 議事要旨

日時・場所

令和6年7月2日（火） 10:15～10:40
官邸2階小ホール

出席者

岸田 内閣総理大臣
自見 内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）
坂本 農林水産大臣
伊藤 環境大臣
加藤 内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女
共同参画）
中野 法務大臣政務官（法務大臣代理）
安江 文部科学大臣政務官（文部科学大臣代理）
宮崎 厚生労働副大臣（厚生労働大臣代理）
吉田 経済産業大臣政務官（経済産業大臣代理）
郷野 委員
小林 委員
末松 委員
袖野 委員
瀧原 委員
竹増 委員
野々村 委員
肥田木 委員（※）
村尾 委員（※）
望月 委員
米山 委員
（※）オンライン参加

事務局（消費者庁）
吉岡 次長
依田 審議官

要旨

- 開催にあたり、自見大臣から発言があった。
 - 本日、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」の進捗状況を報告し、その改定に向けた議論をスタートする。
 - 食品ロス削減・食品寄附促進の取組について、幅広い関係者が連携して取り組むことができるよう、新たに「食の環（わ）」プロジェクトを本日からキックオフしたいと考えている。
- 自見大臣から、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針の改定の考え方（案）」、「食の環（わ）」プロジェクトの取りまとめとその発信について」について説明があった。
- 関係 7 大臣（代理含む）から発言があった。
- 委員（民間有識者）から発言があった。
- 総理から発言があった。
 - 本日、2022 年度の食品ロス量を踏まえ、今後の食品ロス削減の基本方針の改定に向けた議論をスタートした。
 - 「事業系の食品ロス」について、「2030 年目標を、8 年前倒しで達成」することができた。これは、食品事業者の皆様の取組のすばらしい成果だと考えている。この成果の上に、更なる削減を目指し、食品事業者による食品ロス削減の開示強化を推進するとともに、「新たな目標」について、本年度末までに結論を得るべく、議論を進めること。
 - 「家庭系の食品ロス」については、着実に減少しているものの、まだ 2030 年目標達成には至っていない。このため、目標の早期達成に向け、自治体における食品ロス削減の取組状況の開示の充実など、地域の取組を強化すること。あわせて、「見える化」を支える民間企業のデジタル技術や、脱炭素の国民運動「デコ活」の活用により、消費者の効果的な行動変容を促す取組を加速すること。
 - 食品寄附に対する信頼性確保に向けた、「食品寄附促進のためのガイドライン」の官民による作成、食品の期限表示の在り方の見直し、食でつなぐ共生社会の実現に向けた、「食品ロス削減、食品寄附促進及び食品アクセス確保」に一体的に取り組む『「食の環（わ）」プロジェクト』の推進をすること。これらの施策に政府一丸となって取り組み、年度末の食品ロス削減の基本方針の改定に反映させること。

以上